

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】令和 2 年 11 月 12 日 (2020.11.12)

【公開番号】特開 2019-44260 (P2019-44260A)

【公開日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-011

【出願番号】特願 2018-101170 (P2018-101170)

【国際特許分類】

B 2 2 F	1/00	(2006.01)
C 2 2 C	9/00	(2006.01)
C 2 2 F	1/08	(2006.01)
B 2 2 F	3/105	(2006.01)
B 2 2 F	3/16	(2006.01)
B 2 2 F	3/24	(2006.01)
B 3 3 Y	70/00	(2020.01)
B 3 3 Y	40/00	(2020.01)
B 3 3 Y	10/00	(2015.01)
B 3 3 Y	80/00	(2015.01)
C 2 2 F	1/00	(2006.01)

【 F I 】

B 2 2 F	1/00	L
C 2 2 C	9/00	
C 2 2 F	1/08	A
B 2 2 F	3/105	
B 2 2 F	3/16	
B 2 2 F	3/24	C
B 3 3 Y	70/00	
B 3 3 Y	40/00	
B 3 3 Y	10/00	
B 3 3 Y	80/00	
C 2 2 F	1/00	6 2 1
C 2 2 F	1/00	6 0 2
C 2 2 F	1/00	6 9 1 B
C 2 2 F	1/00	6 6 1 A
C 2 2 F	1/00	6 3 0 A
C 2 2 F	1/00	6 5 0 F
C 2 2 F	1/00	6 2 8
C 2 2 F	1/00	6 3 0 K
C 2 2 F	1/00	6 9 1 C
C 2 2 F	1/00	6 9 2 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 8 月 31 日 (2020.8.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

付加製造用の銅合金粉末であって、

C r : 1 . 1 ~ 2 0 質量% (ただし、C r が 2 . 8 0 質量% 以下である場合を除く)、
Z r : 0 ~ 0 . 2 質量%、残部が C u および不可避免の不純物からなる、
銅合金粉末。

【請求項 2】

請求項 1 に記載された銅合金粉末を用いて付加製造された積層造形物の熱処理方法であって、

前記積層造形物を 3 0 0 ~ 8 0 0 で保持する、
積層造形物の熱処理方法。

【請求項 3】

請求項 1 に記載された銅合金粉末の薄層を形成する第 1 工程と、前記薄層の所定位置に電磁波ビームを照射して前記銅合金粉末を溶融・凝固させる第 2 工程とを順次繰り返して積層造形物を作製する造形工程と、

前記積層造形物を 3 0 0 ~ 8 0 0 で保持する熱処理工程とを有する、
銅合金造形物の製造方法。

【請求項 4】

前記電磁波ビームがレーザー光である、

請求項 3 に記載の銅合金造形物の製造方法。

【請求項 5】

銅合金の積層構造を有する造形物であって、

前記銅合金は C r : 0 . 1 ~ 2 0 質量% (ただし、C r が 2 . 8 0 質量% 以下である場合を除く)、Z r : 0 ~ 0 . 2 質量%、残部が C u および不可避免の不純物からなり、

室温における電気伝導率が 6 5 % I A C S 以上であるか、または

0 . 2 % 耐力が 1 5 0 M P a 以上で引張強さが 3 0 0 M P a 以上である、

銅合金造形物。